

算数からはじめる我が校の学力向上計画

教材「アイテム」で活学力を育てる授業へ

習得・活用・探究を一冊に

算数を軸にした授業改善を通じて、子どもたちの学力向上を目指す学校が増えている。NPO法人次世代教育推進機構と、筑波大学附属小学校・算数研究部が協働開発した小学校向け教材「アイテム」は、「課題の理解」「習得」「活用」「探究」の4ステップ構成で、活用型学力の育成につながる段階的かつスパイラルな学習をサポートする。学力向上に取り組む各地の学校で、教材の位置づけや活用のポイントを取材した。

習熟度別チーム指導で「できる喜び」を届ける

教材の統一で指導に一貫性

福岡 桂川町立桂川小学校

重点単元定めて少人数指導

福岡県では平成20年



学力向上への手応えを語る大庭公正校長

桂川町立桂川小学校は4年前、指導方針を「学力向上」に定めた。福岡県では平成20年に策定した「福岡県学力向上戦略」で、子どもたちの学力向上を推進する。桂川町立桂川小学校は、この戦略に基づき、指導方針を「学力向上」に定めた。桂川町立桂川小学校は、この戦略に基づき、指導方針を「学力向上」に定めた。

共通教材採用で算数力アップへ

学び方を身に付ける教材に

茨城 高萩市立松岡小学校

使い方のルール学校全体で統一

高萩市立松岡小学校

大澤吉雄校長は「個に応じた指導の充実」「アイテム」が果たす役割は大きいと話している。大澤吉雄校長は「個に応じた指導の充実」「アイテム」が果たす役割は大きいと話している。



大澤吉雄校長は「個に応じた指導の充実」「アイテム」が果たす役割は大きいと話している

校内・家庭の合意形成図る

「子どもはプリントやドリルを指示されたらやる」という考えは、子どもたちにとっては「やらされる」と感じられる。大澤吉雄校長は「個に応じた指導の充実」「アイテム」が果たす役割は大きいと話している。

「子どもはプリントやドリルを指示されたらやる」という考えは、子どもたちにとっては「やらされる」と感じられる。大澤吉雄校長は「個に応じた指導の充実」「アイテム」が果たす役割は大きいと話している。

「子どもはプリントやドリルを指示されたらやる」という考えは、子どもたちにとっては「やらされる」と感じられる。大澤吉雄校長は「個に応じた指導の充実」「アイテム」が果たす役割は大きいと話している。

「子どもはプリントやドリルを指示されたらやる」という考えは、子どもたちにとっては「やらされる」と感じられる。大澤吉雄校長は「個に応じた指導の充実」「アイテム」が果たす役割は大きいと話している。

「子どもはプリントやドリルを指示されたらやる」という考えは、子どもたちにとっては「やらされる」と感じられる。大澤吉雄校長は「個に応じた指導の充実」「アイテム」が果たす役割は大きいと話している。

「子どもはプリントやドリルを指示されたらやる」という考えは、子どもたちにとっては「やらされる」と感じられる。大澤吉雄校長は「個に応じた指導の充実」「アイテム」が果たす役割は大きいと話している。

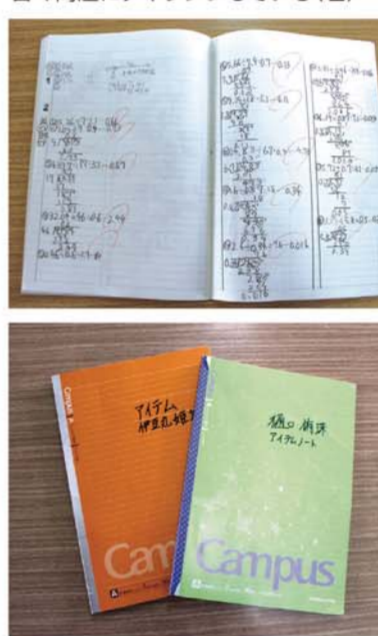
「子どもはプリントやドリルを指示されたらやる」という考えは、子どもたちにとっては「やらされる」と感じられる。大澤吉雄校長は「個に応じた指導の充実」「アイテム」が果たす役割は大きいと話している。

学力上位群への刺激にも

「基礎固めのドリルや課題の習得はもういい」という声も聞かれる。大澤吉雄校長は「個に応じた指導の充実」「アイテム」が果たす役割は大きいと話している。

「基礎固めのドリルや課題の習得はもういい」という声も聞かれる。大澤吉雄校長は「個に応じた指導の充実」「アイテム」が果たす役割は大きいと話している。

6年生の教室には「アイテム」に取り組んだ成果が掲示されている(右) 子どもたちは専用のノートを用意して、日々問題にチャレンジしている(左)



学校独自で教科担任制を採用

個に応じた学習支援を実現

県教委の主導で学力向上に取り組む群馬県では、教科指導の充実策として、小学校で理科を中心とした教科担任制を推進している。太田市立沢野中央小学校(川上みさ子校長)ではこれに先駆けて、今年度から高学年のほぼ全教科を専科教員が指導している。

群馬・太田市立沢野中央小学校

今年度は毎週金曜の朝学習を「アイテム」の時間として一斉に取り組んでいるほか、宿題にしている学年もある。「算数の得意な子は、教科書にはない問題にチャレンジすることにやりがいを感じている様子。苦手な子どもには、無理せずできる範囲で取り組むように促している。」(中島智教諭)。

教員の「活学力」理解にも有効

川上校長は、「『アイテム』のステップ3や4は活学力を育む問題の好例」とし、活用育成につながる課題提示や思考のさせ方を、教員が具体的に理解できるようになったことも教材採用の成果と話す。

他校での評判が「アイテム」導入の決め手になったという川上みさ子校長。中島智教諭を中心に活用が進む



教科担任制は子どもと保護者から支持されており、「教材研究の時間が確保しやすくなったことなどもあり、授業の質も高まった」と(川上校長)。同校では今後も、独自のアプローチで子どもたちの学力向上を目指していく考えだ。

i-tem こう使おう!

筑波大学附属小学校・算数研究部

表現力の育成にも
「アイテム」では計算ドリルから発展問題まで様々なタイプの問題を用意しています。基礎・基本の定着はもちろん、発展的な問題を扱うことで、基礎・基本を活用する面白さを味わわせることをねらっています。考え方を記述式で問う問題も用意し、表現力を高めるのにも効果的です。

着実に活用する力を伸ばす
低学年で「考える力をつけよう」、高学年で「活用する力をつけよう」の問題を設定しています。授業で使うため、2回程度に分けて取り組めるようにしていますので、着実に「活用する力」を伸ばすことができます。

家でも学校でも算数の力を伸ばす
「アイテム」は計算ドリルも充実しています。単元の初めは書き込み可能なゆとりドリルで、単元の後半は問題を重複したきつドリルです。ホームワークマークがついている問題は、自主学習や家庭学習用にと考えたもので、家でも使ってもらえればと思っています。

算数を面白いと感じる子どもを増やす
「アイテム」には、すぐにも算数の活動が展開できる授業実践を、各領域について「授業でわかる!」と題し紙上で再現しています。「算数って面白い!」と感じる子どもを増やすことにつながればと思っています。

見通しと振り返りにも有効
「アイテム」では、学習領域ごとに各学年の内容が整理されています。学習内容の系統性が分かりやすいということは、子どもたちにとって学習がしやすいことにもつながります。また、学習内容を見直し、振り返りがしやすいように、学習したことを振り返るときにも有効です。

活用する力を身につける
「アイテム」では、各単元において習得・活用・探究にあわせて構成されています。習得では小刻みに使えるように1ページを2分割、活用探究では、面白い内容を精選し、知的好奇心を満たす工夫を満載しています。

難問にも挑戦して学びを豊かに
学んだことを様々な問題場面で活用することで、より深い理解を得ることができます。また、他の学習内容と関連付けることで、新しい知識や技能を獲得していくと生きて働く力になります。少し難しい問題でも挑戦することで、学びがより豊かになっていくでしょう。

紹介した学校の「アイテム」の活用方法や、授業・研究の詳細はNPO法人次世代教育推進機構のホームページ

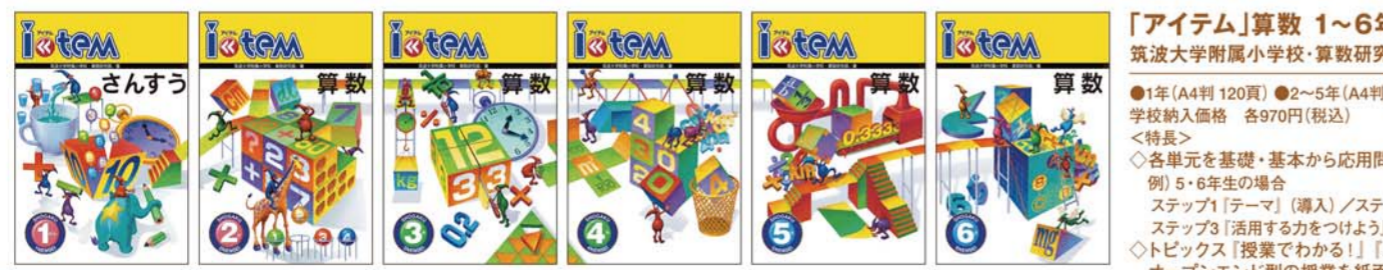
<http://www.next-edu.or.jp>

※掲載の内容は2014年12月現在のものです。

「わかる喜び」「考える楽しさ」を育む

i-temは、教育現場から生まれた教材です。

「アイテム」算数は、「先生にとっても、子どもたちにとっても使いやすい問題集を作ろう!」をコンセプトに、筑波大学附属小学校・算数研究部の先生方のアイデアを結集させて作られました。取り組み方や進め方が分かりやすく、達成感が得られる問題集です。



「アイテム」算数 1~6年 対応
筑波大学附属小学校・算数研究部/著
●1年(A4判 120頁) ●2~5年(A4判 128頁) ●6年(A4判 136頁)
学校納入価格 各970円(税込)
＜特長＞
◇各単元を基礎・基本から応用問題まで4ステップで構成(例)5・6年生の場合
ステップ1「テーマ」(導入) / ステップ2「確かなものしよう」
ステップ3「活用する力をつけよう」 / ステップ4「チャレンジしよう」
◇トピック「授業でわかる!」【「スパイラルアイテム」を掲載】
オープンエンド型の授業を紙面に再現!
◇3~6年生の巻末には「活用問題」のコーナーを設置!

ご審査用見本をご請求ください!

「アイテム」SPRILLのお問い合わせ、お申込について

FAX 03-3304-5316

TEL 03-3304-5314

<http://www.next-edu.or.jp>

お問い合わせは、上記までご連絡ください。「アイテム」のお申し込みにつきましては、多くの子どもたちに貢献したいと考え、学校版版と同一形態をとらせて頂いております。直接FAXもしくは、お電話にて承ります。ご理解頂きまますようお願い申し上げます。

「よりよい教育環境を子どもたちに」をテーマに、本機構HPでは、学校、授業への提案、提案を発信しております。「アイテム」のご審査用見本、「SPRILL」の資料はこちらからお請求できます。

企画

発行・販売

NPO法人次世代教育推進機構
for Education of Next Generation

教育開発出版株式会社